

R82[®]

panda futuraTM

取扱説明書

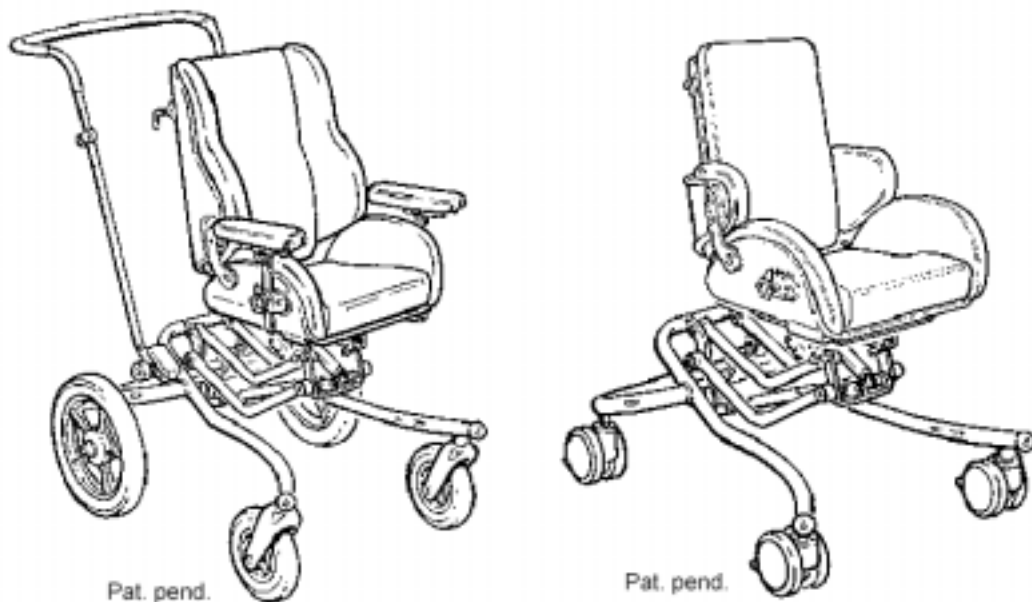
輸入代理店

テクノグリーン株式会社

〒530-0015 大阪市北区中崎西1丁目4番22号 梅田東ビル

T E L (06)6371-0104 F A X (06)6371-6400

＜目次＞	
＜安全性＞	4
＜保証規定＞	4
＜各種シート＞	5
＜レバー付ボルト＞	5
＜ガスダンパー調整＞	6
＜シート取付け／取外し＞	7
＜背もたれリクライニング＞	8
＜背もたれ延長部＞	8
＜ヘッド・サポート＞	9
＜プッシュ・ブレス／プッシュ・ハンドル＞	10
＜開閉式ショルダー・サポート＞	11
＜サイド・サポート＞	12
＜開閉式サイド・サポート＞	12
＜開閉式ニー・サポート＞	13
＜シート延長部＞	13
＜フットレスト＞	14
＜内転パット＞	14
＜フィックスロック（ベルト固定部品）＞	15
＜アームレスト／テーブル＞	16
＜クロス式ベルト／ベスト式ベルト＞	18
＜胸ベルト＞	18
＜5点式ベルト＞	19
＜新型H式ベルト＞	19
＜骨盤ベルト（2点式）＞	20
＜骨盤ベルト（4点式）＞	20
＜股ベルト＞	21
＜アンクルベルト＞	21
＜フット・ストラップベルト＞	22
＜ハンドベルト＞	22
＜H式ベルト＞	23
＜防寒バッグ＞	23
＜フード付レインキャップ＞	24
＜お車での移動（その1）＞	25
＜お車での移動（その2）＞	26
＜お車での移動（その3）＞	27
＜お車での移動（その4）＞	28
＜お車での移動（その5）＞	29
＜お車での移動（その6）＞	30
＜製品識別＞	31
＜寸法表＞	32
＜テクニカルデータ＞	33
＜製造者＞	33
＜販売店＞	33
＜メンテナンス＞	34



PANDA FUTURA

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品は快適な座位保持機能を必要とするお子様向けにつくられたシーティングシステムです。 Panda シートは、スタンダードタイプとアクティブタイプの2タイプをご用意致しております。 スタンダードシートは、お子様の身体全体を包み込むトータルコンタクトを第一の目的としています。アクティブシートは、さらに自由な動きが可能なお子様向けです。

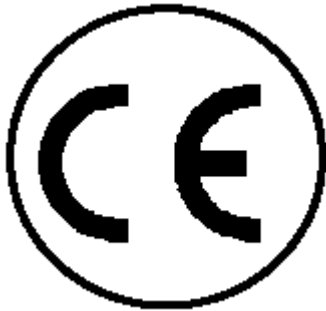
両タイプとも、座面・背もたれがそれぞれ独自にリクライニングする W リクライニング機構を標準装備致しております。そして多様な調節機能やアクセサリにより、ご利用頂く方々にとって最高のパートナーとして皆様のご期待に添えるものと確信しております。また屋内・屋外いずれにもご使用頂けます。 ご使用場所・目的に応じフレームをお選びください。

屋内使用 フロアーフレーム
 High-Low フレーム（屋内用）

屋外使用 High-Low フレーム（屋外用）
 車椅子フレーム
 バギーフレーム

ご使用前に本取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。 また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂きますようご活用ください。

- 本取扱説明書に記載されている内容、仕様等は予告なく変更される事がありますので予めご了承ください。（また日本ではお取り扱いしていない製品も含まれております。）



<安全性>

本製品は CE マークを取得しております。これはヨーロッパの安全規格を満たしている事を証明しております。



本製品を改造又は R82 社純正部品以外の部品をご使用の際は貼付されております CE マークを外してください。



Panda Futura は一人乗りです。二人以上お乗りにならないでください。



本製品をご使用中にはお子様から離れないでください。調整による永続的な管理を行ってください。誤ったご使用方法はお子様に怪我を引き起こす可能性があります。

必ずお子様にお付き添い、常にお子様から目を離さないでください。不適切な使用をされた場合、事故などの危険を伴う恐れがございますので大人の監督下で行ってください。 固定や調節方法がすべて正しく行われているか、また、アクセサリーが正しく取付けられているか、ご使用毎にご確認ください。



最新の取扱説明書については、下記ホームページでご覧いただけます。

www.r82.com

<保証規定>

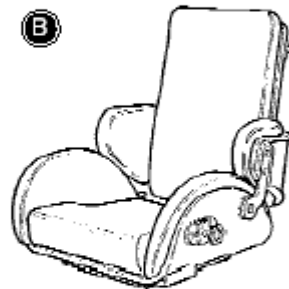
Panda Futura には 12 ヶ月間の保証が付いています。保証は、R82 社の純正部品や取付け金具が使用されている場合のみ有効です。特別調節は販売店にご相談ください。

<各種シート>

Panda Futura のシートには、(A)スタンダードタイプ 5サイズ、(B)アクティブタイプ 4サイズご用意しております。

アクティブシートは、上肢の動きをさらに広げられるように設計されており、活発なお子様に最適です。

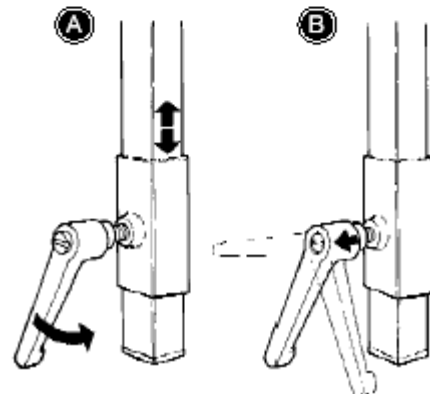
スタンダードシートはトータルコンタクトを目的に設計されており、身体全面をサポートしたいお子様に最適です。お子様の症状に合わせシートをお選びください。両シートとも、アクセサリを豊富にご用意しております。



<レバー付ボルト>

A) ボルトを固定する際は、ハンドルを右回りに締めてください。

B) ボルトを緩めず、ハンドルの位置を調節する際は、ハンドルをまっすぐ手前に引いて行ってください。

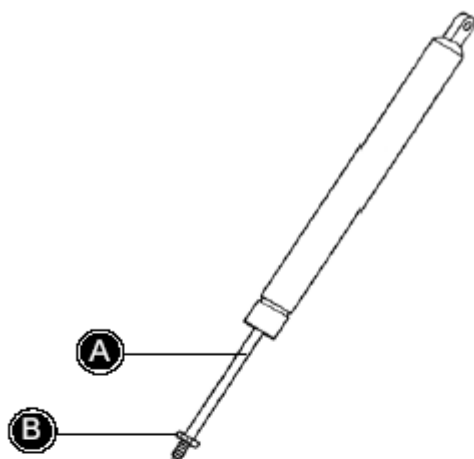


<ガスダンパー調整>

Panda Futura に使われているフレームには、角度や高さ調節ができるガスダンパーが付いています。 ティルトリクライニング又はフレーム昇降において下記の点が見られた場合、以下の手順にて調整を行ってください。

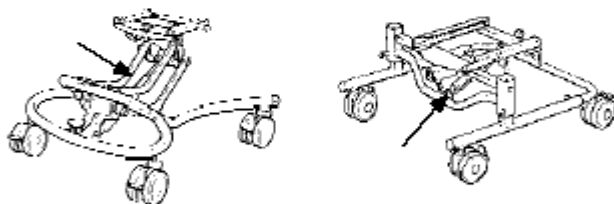
—ティルト角度又はフレームが自然に下がってくる

—ティルト角度又は昇降調節ができない。(動かない)



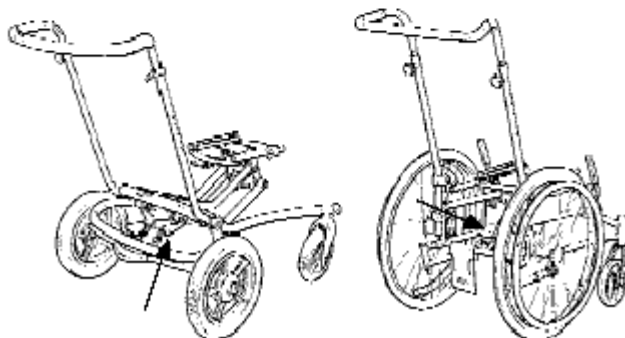
ティルト角度が自然に下がってくる:

- 1、17mm レンチでナット(B)を緩めてください。
- 2、バイスプライヤー等でピストン棒を座面側から見て反時計回りに締めてください。
- 3、再びナットで締めてください。



ティルト角度の調整ができない場合

- 1、17mm レンチでナット (B) を緩めてください。
- 2、バイスプライヤー等でピストン棒を座面側から見て時計回りに緩めてください。
- 3、再びナットで締めてください。



ガスダンパーに圧力をかけたり、高温の場所に置いたり、また穴を開けたりしないでください。

上記対処法は締めすぎ、緩めすぎにより大きく変わりますので、動きを確認しながら行ってください。

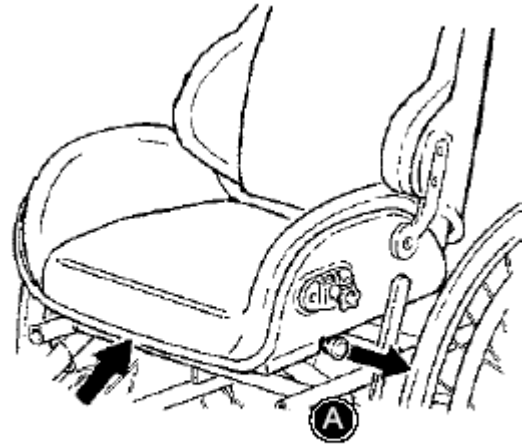
<シートの取付け／取外し>

シートの取付け方

アダプターにシートを載せ、「カチッ」と音がするまで奥に押してください。



最初の穴で「カチッ」と音がしますがそれはセキュリティロックです。更にもう一段階奥の穴に入れてください。

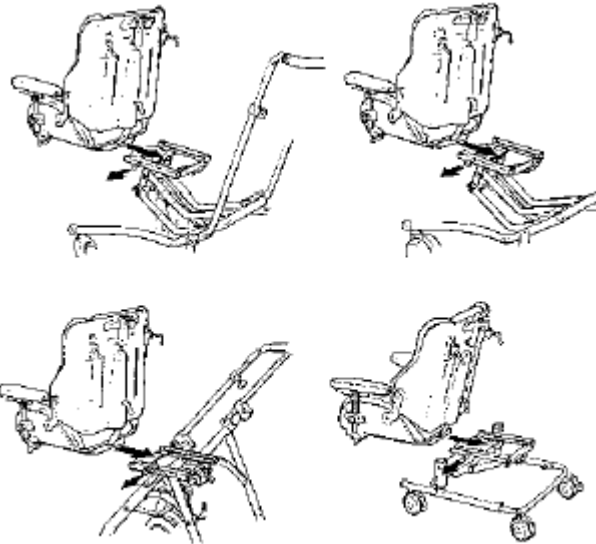


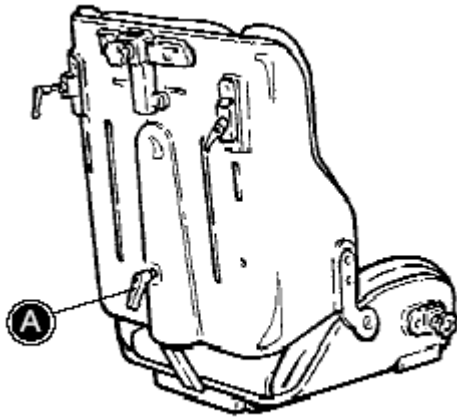
シートの取外し方

ノブを引き(A)、シートを前へ引き、同時に上げてください。



車椅子フレームのサイズ4でのご使用はお勧め致しません。





<背もたれリクライニング>

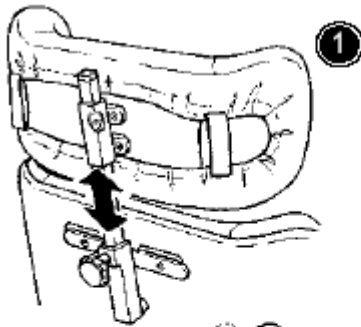
ハンドル(A)を緩め、背もたれをリクライニングさせてください。



リクライニングの際は、シートが勢いよく倒れないように背もたれをしっかりとって調節を行ってください。

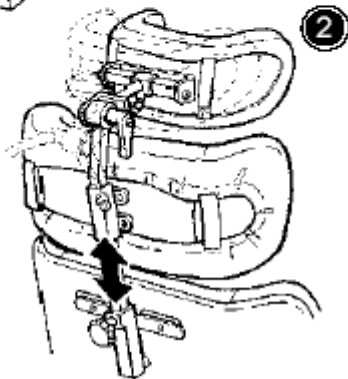
<背もたれ延長部>

1) 背もたれ延長部の高さ調節が行えます。



2) 背もたれ延長部はヘッドサポートと同時にご使用いただくことが可能です。

その際は専用ヘッドサポート金具に交換してください。



<ヘッド・サポート>

調節可能箇所

- A) 左右調節
- B) 角度調節
- C) ヘッド・サポート金具角度調節
- D) 高さ調節

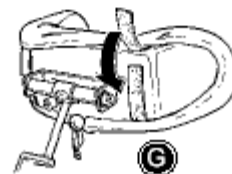
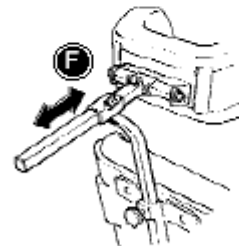
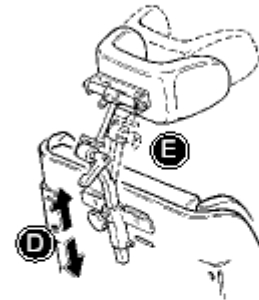
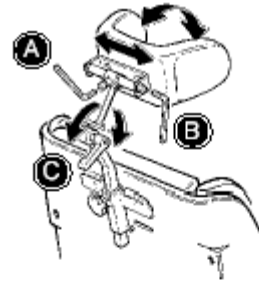


A)～D)の調節は付属の6mmレンチにて行えます。調節後は各ボルトをしっかり締めなおしてください。

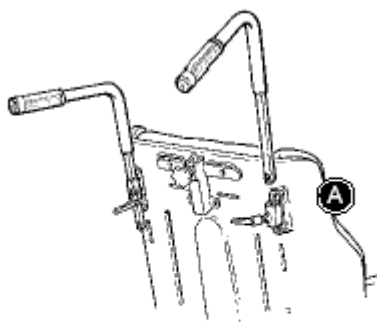
E)ヘッド・サポートのバーは、前方向にもサポートができるよう180°回転します。

F)スワンネック金具ではより前方にセッティングが行えます。

G)ヘッド・サポートにカバーを取付けてください。

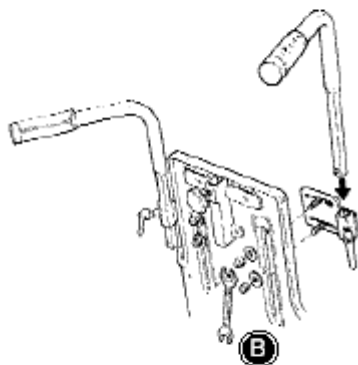


<プッシュ・プレス／プッシュ・ハンドル>



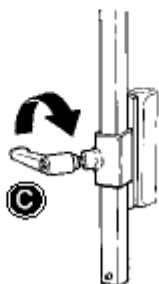
Panda スタンダードシート：

付属の六角レンチを使い、背もたれに取付金具をセットしてください。(A) プッシュ・プレス／プッシュ・ハンドルを取付金具に差込み、ハンドル(C)で固く締めてください。



Panda アクティブシート：

図(B)のように、背もたれに取付金具をセットし、ハンドル (C) で固く締めてください。

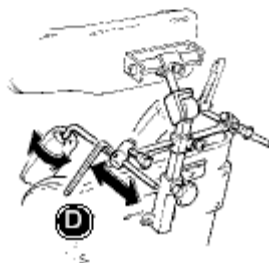
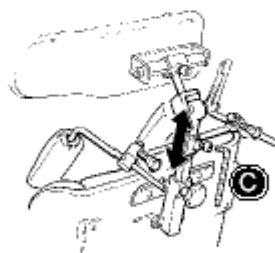
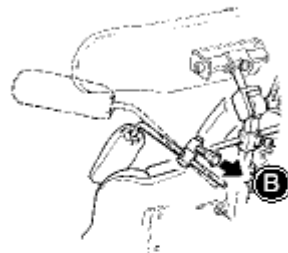
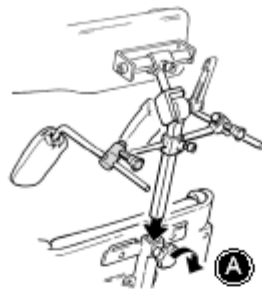


<開閉式ショルダー・サポート>

- A) ショルダーサポートはヘッドサポートのバーに取付けられます。ヘッドサポートバーをシート背面の受け部品に差してください。
- B) 解除ノブを引き、ショルダーサポートを動かしてください。
- C) 六角レンチを使ってショルダーサポートの高さを調節してください。
- D) 六角レンチを使ってショルダーサポートの奥行を調節してください。

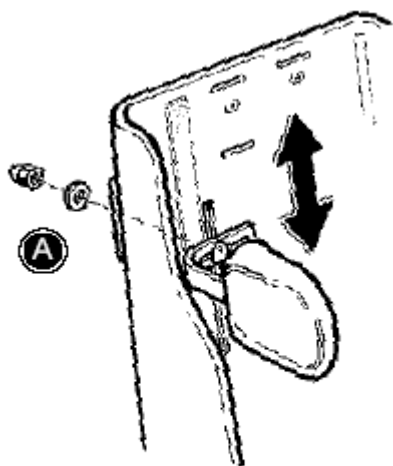


よりスムーズな開閉機能を維持する為、定期的に開閉部品に潤滑油をふってください
(目安：3ヶ月毎)



<サイド・サポート>

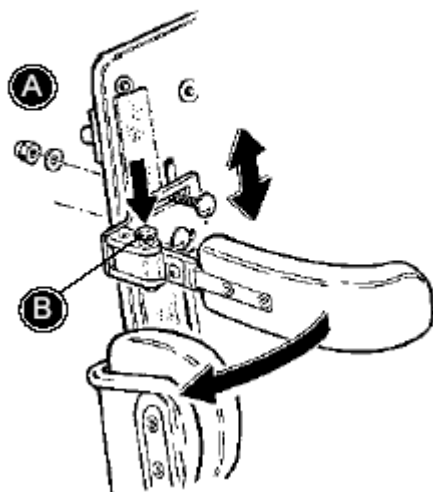
背もたれクッションを取外し、背もたれ通し口にサイドサポートを取付けてください(A)。



<開閉式サイド・サポート>

背もたれクッションを取外し、背もたれ通し口に開閉式サイド・サポートを取付けてください(A)。

サイド・サポートは、赤いボタン(B)を押すと開きます。



よりスムーズな開閉機能を保つ為、定期的
に開閉部品に潤滑油をふってください
(目安：3ヶ月毎)

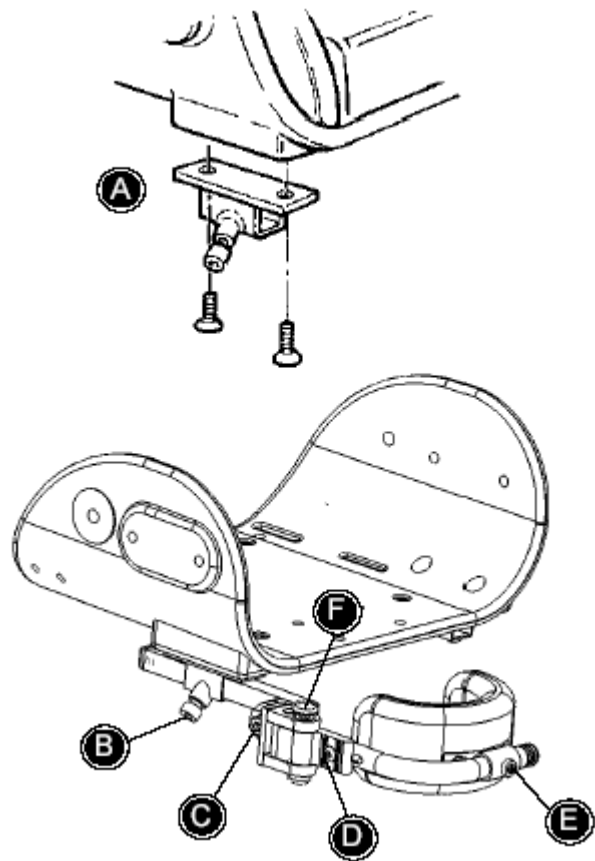
<開閉式ニー・サポート>

4mm レンチでシート下部に取付具(A)を取付けてください。ニーサポートを挿入し、6mm レンチで締めてください(B)。

- ・6mm レンチでネジ(C)を緩め、ニーサポートのバーの角度を調節してください。
- ・4mm か 6mm レンチでネジ(B)もしくは(D)を緩め、奥行きを調節してください。
- ・4mm レンチをお使い頂くと、ニーサポートの角度、左右調節ができます(E)。
- ・赤いボタン(F)を押してニー・サポートの開閉を行ってください。



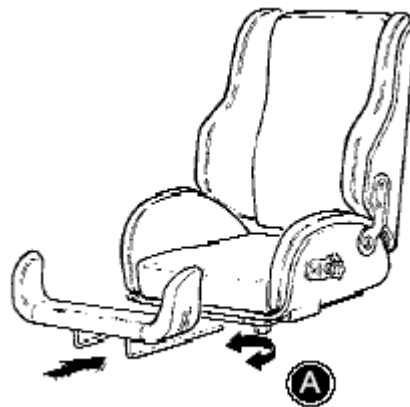
よりスムーズな開閉機能を保つ為、定期的に開閉部品に潤滑油をふってください(目安: 3ヶ月毎)



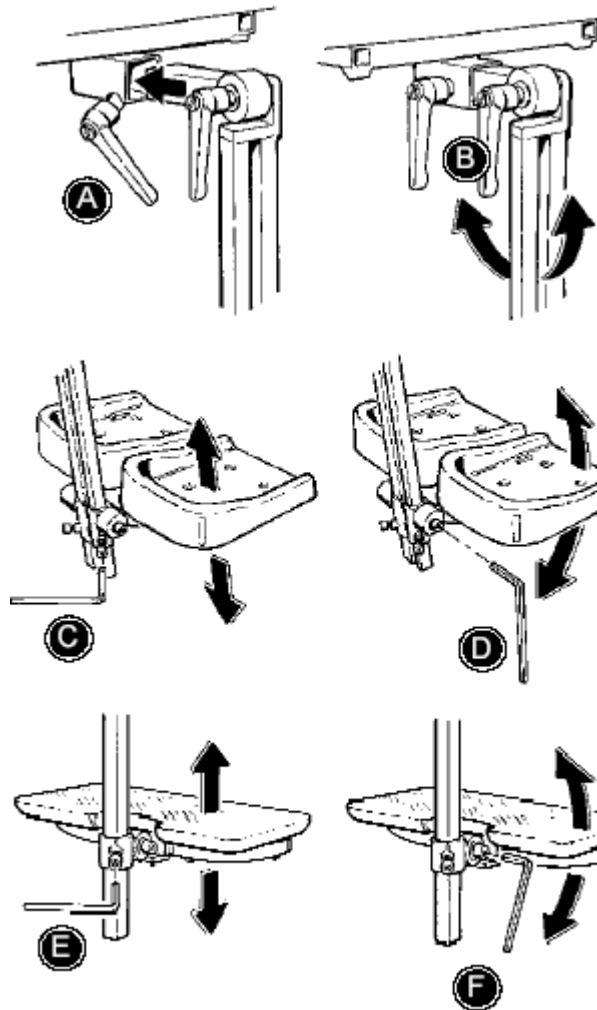
<シート延長部>

シート延長部は、シートの下にあるアダプターに挿入して取付け、ご希望の位置に調節してください。

ハンドル(A)で締めてください。



<フットレスト>



A)フットレスト棒の奥行きを調節し、レバー付ボルトで固定してください。

B)ハンドルを使って、フットレスト棒の角度を調節してください。

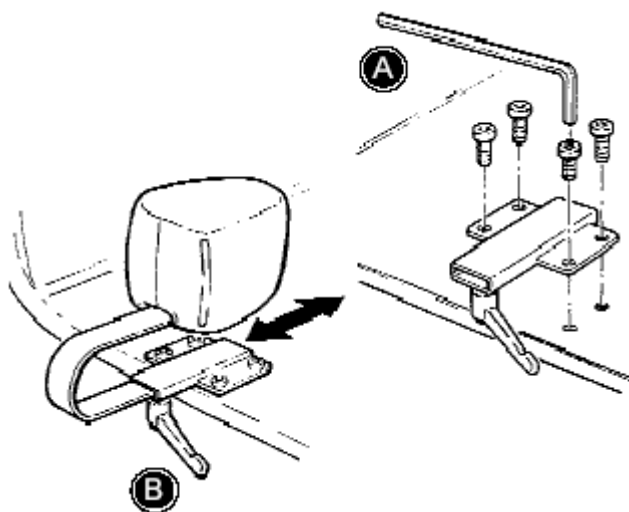
C)6mm レンチを使って、フットレストの高さを調節してください。

D)6mm レンチを使って、フットレストの角度を調節してください。

E)6mm レンチを使って、フットプレートの高さを調節してください。

F)6mm レンチを使って、フットプレートの角度を調節してください。

<内転パット>



A)内転パットには、6mm レンチ、取付金具が同梱されています。

B)内転パットを差込み奥行調節を行ってください。

<フィックスロック（ベルト固定部品）>

簡単に素早くベルトを調節するために、フィックスロックを Panda シートに取り付けることができます。骨盤ベルト（85427-x）、股ベルト（89112-x と 89108-x）、5 点式ベルト（89665-x）、新型 H 式ベルト（85428-x）、クロス式ベルト（89625-x）を素早く、そして正しい位置で締めることができます。付属のレンチにて取付けてください。

背もたれ部分に取付ける場合：

- フィックスロック（6 個）を、背もたれに取付けてください。肩部側のフィックスロックは下の位置にも取付けられます。クッション側の中にベルト用ストラップを通して固定する事でよりベルトが肩にフィットします。（予め、カッターでクッションにストラップを通すためのスリットを開けてください）

- 上記取付方法はクロス式・H 式等各種ベルトでご使用頂けます。

注意：

ストラップは、取付けたあとに正しい長さで固定してください。

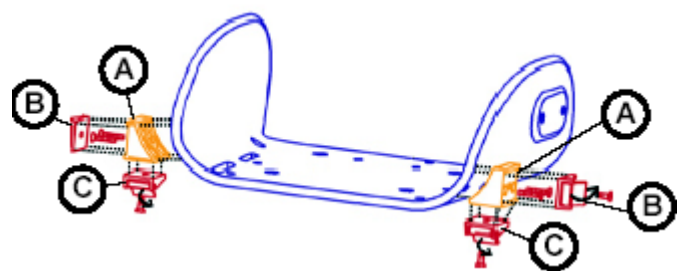
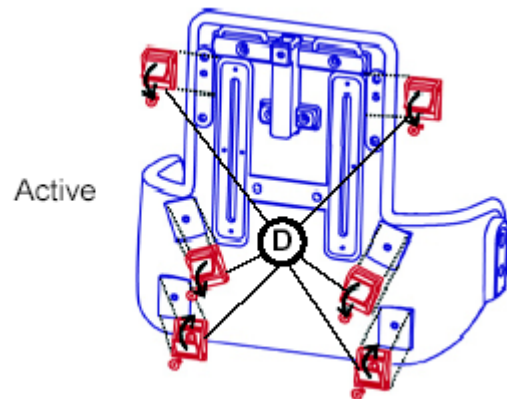
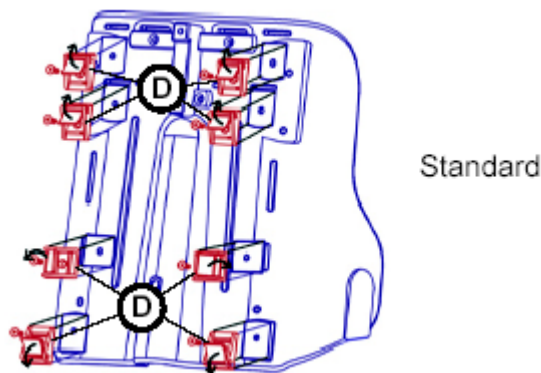
座面部分に取付ける場合：

- シート左右側面に、アダプターブロック (A) を取付けてください。

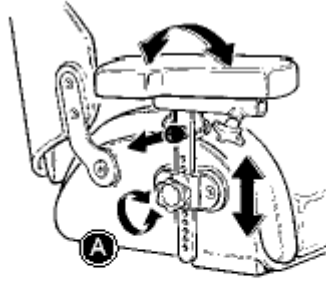
- フィックスロック (B) は、骨盤ベルト、股ベルト用のネジでシートの両側に取付けられます（股ベルトモデル 89108）。

- T-モデルの股ベルト（89112）を取付ける場合、フィックスロック (C) をシート裏側の両サイドに取付けてください。これらはネジ（B セット）で取付けられます。

- 5 点式ベルトをご使用の場合、フィックスロック 2 ヶ (C) を背もたれ部分の上部に取付けてください。



<アームレスト/テーブル>

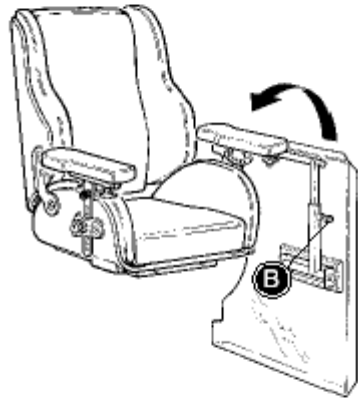


A)アームレスト高さ調節

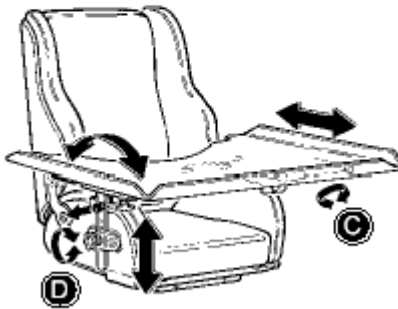
B)テーブル左右調節

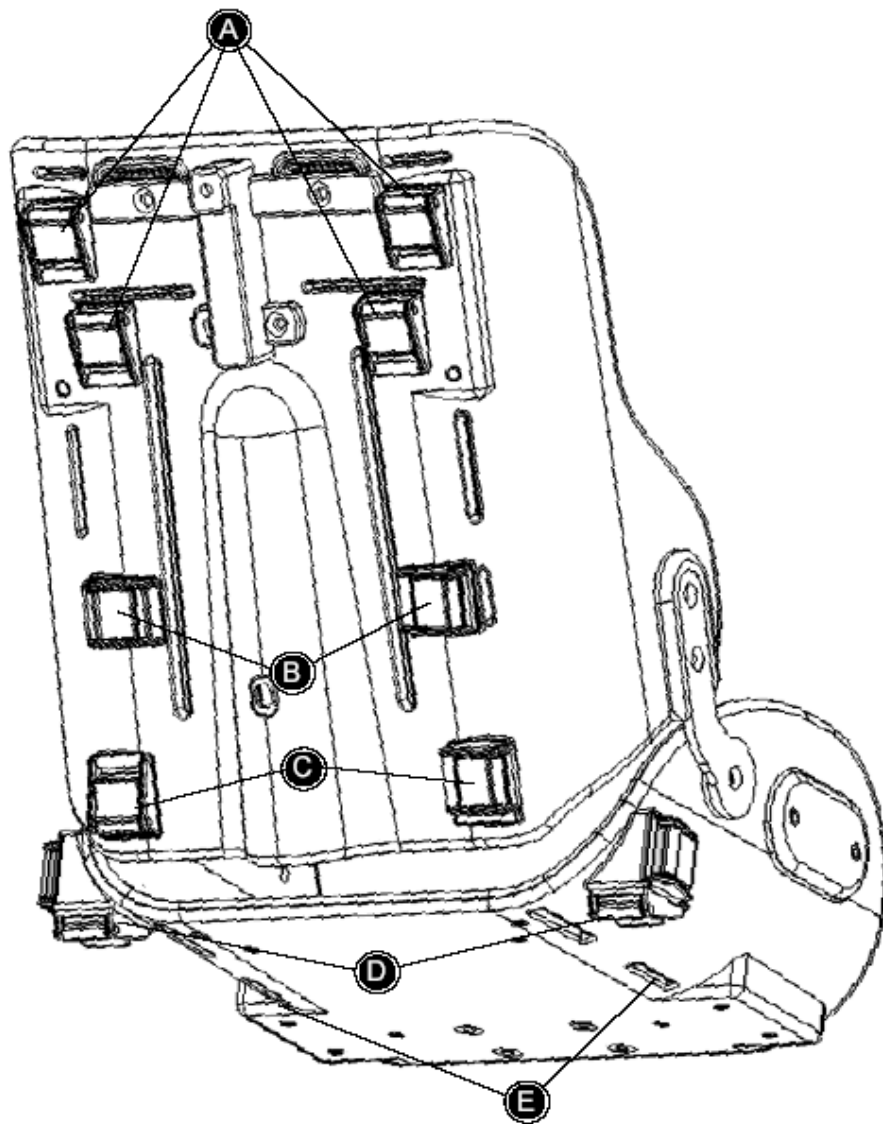
C)テーブル奥行き調節

D)アームレスト角度調節（アームレストの角度を変えると、テーブルの角度調節が行えます。）



アームレストがない場合、テーブルはご使用になれません。





次ページからの各種ベルト取付方法をお読みいただく際、上図（A～E）をご参照ください

<クロス式ベルト/ベスト式ベルト>

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15 ページ参照）

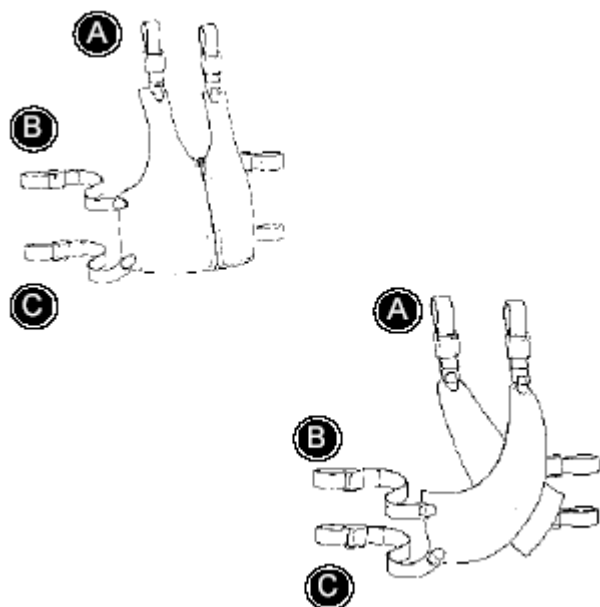
クロス式ベルト・ベスト式ベルトはバックルとジッパーで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

＊肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。

＊骨盤側のストラップ（上側）をフィックスロック（B）に取付けてください。

＊骨盤側のストラップ（下側）をフィックスロック（C）に取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<胸ベルト>

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15 ページ参照）

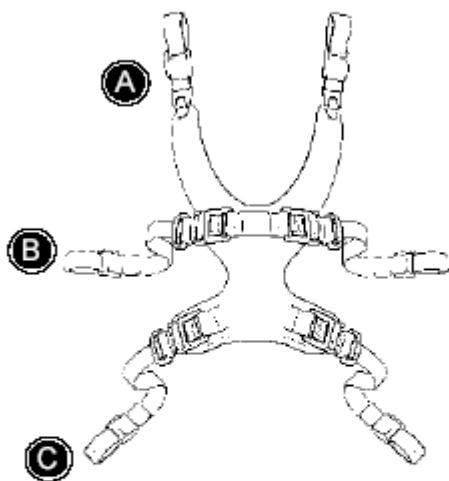
胸ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。

骨盤側のストラップ（上側）をフィックスロック（B）に取付けてください。

骨盤側のストラップ（下側）をフィックスロック（C）に取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

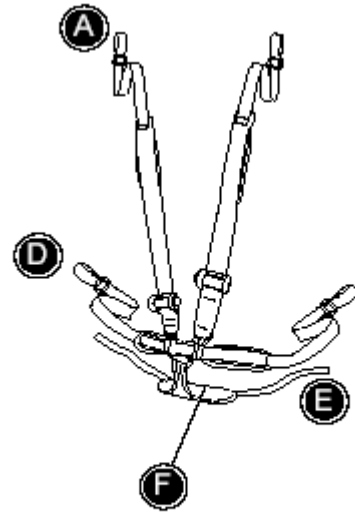
<5 点式ベルト>

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15 ページ参照）

5 点式ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください
（17 ページ参照）

- * 座面に取付いていますストラップ通し又はフィックスロック（D）にストラップ（E）を取付けてください。
- * お子様を三角パット（F）の上に乘せてください。
- * 両サイドのストラップ（D）を座面のスリッドを通しフィックスロックで固定してください。
- * 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

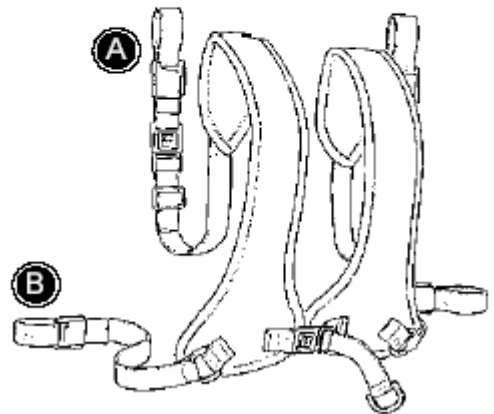
<新型 H 式ベルト>

フィックスロック（ベルト固定部品）を背もたれに取付けてください（15 ページ参照）

新型 H 式ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

- * 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。
- * 両サイドのストラップをフィックスロック（B）に取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

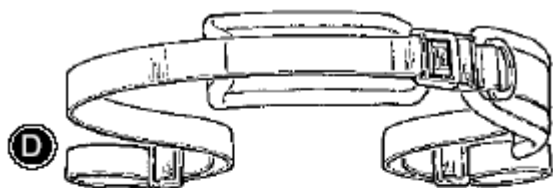
<骨盤ベルト（2点式）>

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに取付けてください（15 ページ参照）

骨盤ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

＊ シート裏のフィックスロック (D) にストラップを取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<骨盤ベルト（4点式）>

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに取付けてください（15 ページ参照）

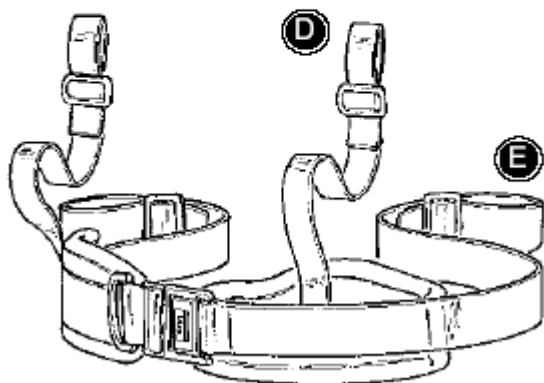
骨盤ベルトはバックルで開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

シート裏のフィックスロック (D) にストラップを取付けてください。

シートの前側のスリッドを通してフィックスロック (E) にストラップを取付けてください。

ストラップ (E) (D) の位置を逆にして頂いてもご使用いただけます。

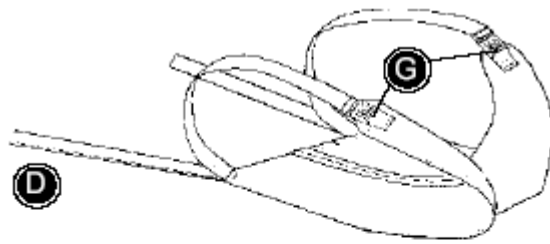


固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

＜股ベルト＞

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに取付けてください（15 ページ参照）

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）



- * バックル（G）を外してください。
- * シート裏のフィックスロック（D）にストラップを取付けてください。
- * お子様をベルトの上に乗せ、大腿部を覆うようにバックルでとめてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

＜アンクルベルト＞

アンクルベルトはマジックとバックル（A）で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください

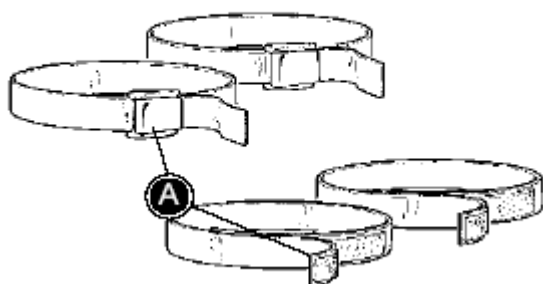


- * バックル（C）を外してください。
- * フットプレートに開いているスリッドにストラップ（B）を通してください。
- * 最後にバックル（C）で固定し、づれていないか確認してください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<フット・ストラップベルト>



フット・ストラップベルトはマジックとバックル (A) で開閉することができます。

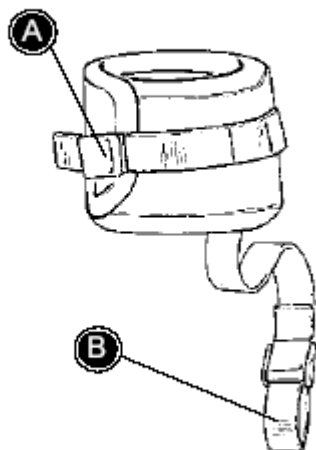
下記の手順に従って取付けを行ってください

フットプレートに開いているスリッドにストラップ (A) を通してください。
お子様の足の周りにストラップを巻いてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<ハンドベルト>



ハンドベルトはバックル (A) で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください。

お子様の手首にハンドベルトを巻いてください。
アームレストバーにストラップ (B) を取付けてください。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

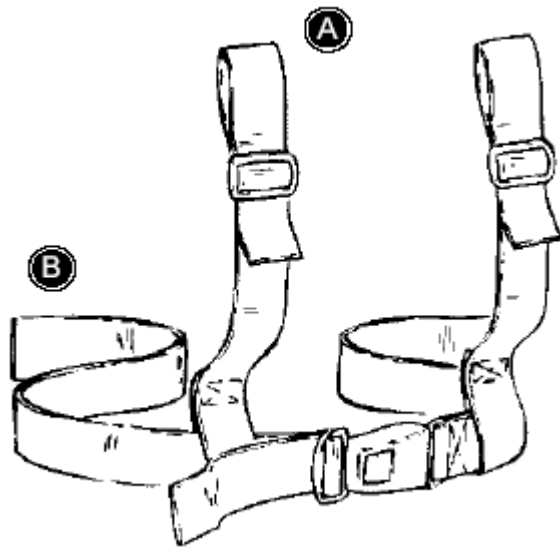
<H 式ベルト>

フィックスロック（ベルト固定部品）をシートに取付けてください（15 ページ参照）

H 式ベルトはバックル（A）で開閉することができます。

下記の手順に従って取付けを行ってください（17 ページ参照）

- * 肩ストラップをフィックスロック（A）に取付けてください。
- * 両サイドのストラップをフィックスロック（B）に取付けてください。

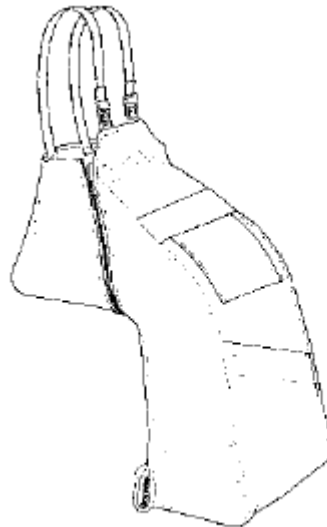


固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<防寒バッグ>

- * 防寒バッグを椅子にセットしてください。
- * ジッパーをおろしお子様を乗せてください。
- * ジッパーを上げてください。

防寒バッグには骨盤ベルトを取付けるためのスリッド（マジックタイプ）があります。



固定・調節等正しく行われているか定期的にチェックしてください。

<フード付レインキャップ>

レインキャップをお子様のお体から足台までシート全体にお掛けください。



固定・調節等正しく行われているか
定期的にチェックしてください。

<お車での移動（その1）>

車椅子フレーム使用の Panda Futura は、お子様が車椅子に乗った状態のままお車で移動することが認可されております。その際は、前方に向けた状態でセットしてください。下記の点をお読み頂き安全にご使用ください。



特別仕様の椅子の場合は、適用されませんのでお控えください。

スタンダードシートサイズ 1、2、2.5、3 にのみ有効です。安全のため、以下の点にご注意ください。



できる限り、お車のシート（又はカーシート）に乗せた状態で移動されることをお勧めします。その際はシートベルトでしっかり固定してください。



この製品は、下記の力学試験を受けております。
ANSI/RESNA WC/Vol. 1
ISO 7176/19-2001



4点式ストラップ固定システムを使用し、シートは常に正面に向けてください。



シートには3点式のベルトをご使用ください。その際、ベルトの機能を妨げない為に、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。



前輪を固定する際には、向きを合わせてください。



車内では、アクセサリーはすべて取外し、離して保管してください。取外しできないアクセサリーについては、アクセサリーとお子さまの間に緩衝材を挟み、安全に注意してください。



車椅子の改造や部品交換をする際には、必ず販売店にご相談ください。

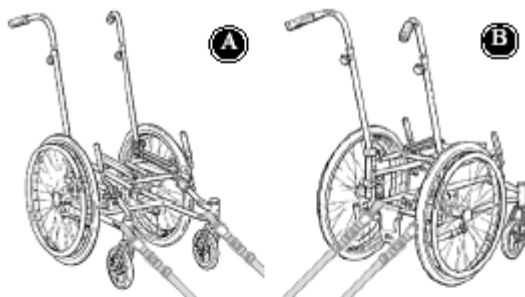


車に何らかの衝撃があった場合には、次にお使いになる前に必ず販売店の製品チェックを受けてください。



<お車での移動（その2）>

車内では、Panda シートを車椅子フレームに固定してください。



- ・車内では、4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。
- ・4点式ストラップタイプ固定システムを使って、イスを車に固定してください。フレームの正面から見た様子は左図(A)を、背面は左図(B)を参考にイスを固定してください。



4点式ストラップタイプ固定システムは、ISO 10542-2 の認可を受けたものをお使いください。



お車での移動の際のシート耐荷重は22 kg です。



イスにお子さまを乗せる方法については、25ページをご覧ください。

Panda シートをバギーフレームに固定してください。

- ・車内では、4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。
- ・バギーの両側に、(B)の様に取付具(A)をセットしてください。
- ・4点式ストラップ固定システムを使って、椅子を車に固定してください。フック、もしくは取付具に通したストラップをお使いください。



4点式ストラップ固定システムは、ISO 10542-2 の認可を受けたものをお使いください。

椅子にお子さまを乗せる方法については、27ページをご覧ください。

<お車での移動（その3）>

Combi フレームは下記の力学テストを受けています。

ISO 7176-19

安全のため、下記の注意事項をお守りください。



特別仕様の椅子の場合は適用されませんのでお控えください。



お車でのご使用の場合、Combi フレームの耐荷重は35kgです。



できる限りお車のシート（又はカーシート）に乗せた状態で移動されることをお勧めします。その際はシートベルトでしっかり固定してください。



フレームは常に正面に向けてください。ISO 10542-2 の認可を受けた4点式ストラップ固定システムをお使いください。



シートには ISO 10542-1 の認可を受けた3点式のベルトをお使いください。ベルトはアームレストや車輪などの構成部品によってお子様の体から離さないように注意してください。
骨盤ベルトだけのご使用では危険です。



車内では、アクセサリはすべて取外し、離して保管してください。取外できないアクセサリについては、アクセサリとお子さまの間に緩衝材を挟み、安全に注意してください。



車椅子の改造や部品交換をする際には、必ず販売店にご相談ください。

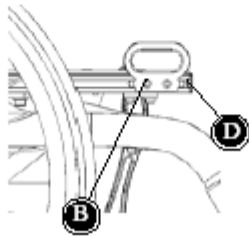
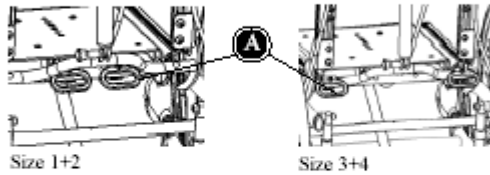


車に何らかの衝撃があった場合には、次にお使いになる前に必ず販売店の製品チェックを受けてください。



シートの取扱いに関する事前注意事項については、移動している間は必ずお守りください。





＜お車での移動（その4）＞

車内での Combi フレームの固定方法：

1. 4点式ストラップ固定システムを使って、フレームを車にセットしてください。



ISO 10542-2 の認可を受けた4点式ストラップ固定システムをお使いください。

フレーム背面の車載用金具 A：

2. プラグを取外してください。
 - ・背面バーに取付具(A)をセットしてください。
 - ・付属の 6mm ボルトとナットを使って取付けてください。（シートのサイズにより、取付ける位置が異なります）

フレーム前面の取付具 B：

3. サイドレールのプラグ(D)を取外してください。
 - ・ネジ止めをサイドレールにスライドさせてください。
 - ・プラグ(D)を再度取付けてください。
 - ・車載用金具をネジ止めして穴の位置を合わせてください。
 - ・付属の 6mm ボルトとワッシャーでしっかり固定してください。車載金具(B)の両側がレールの穴に入っているか確認してください。
 - ・車載金具(B)は（図のように）上方向に取付けられますが、お好みで下方向にも取付けられます。

4. 車内では、4点式固定ストラップを使ってフレームをセットしてください。車載金具(A)(B)は、フックもしくはストラップどちらでも締めることができます。

計4つの車載金具(A)と(B)を、付属のフック(C)に引っかけてください。

イスにお子さまを乗せる方法については、27ページをご覧ください。

<お車での移動（その5）>



移動の際には、必ず車載金具をお使いください。



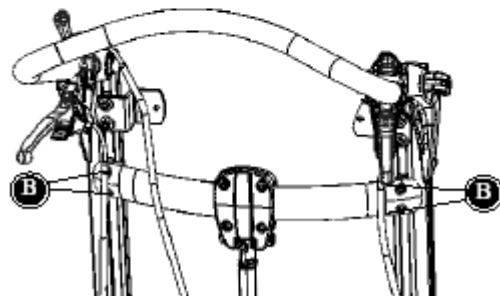
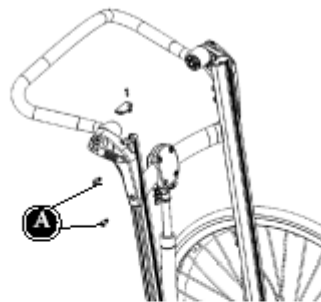
Combi フレームのサイズ 3 に Panda Futura サイズ 4 を乗せる場合、背面のプレスより上に車載用金具を取付けてください。下記の手順 1. と 2. を飛ばして、手順 3. までお進みください。

1. 両側にあるボルト 2 つ (A) を緩め、プッシュプレスを取外してください。

- ・プッシュプレスを引き上げてください。

2. ネジ 4 つ (B) を緩め、プッシュプレス上部を取外してください。

- ・縦棒を後へ倒してください。
- ・プレスを引上げてください。



右図から、お子様の適したサイズのフレームとシートの組み合わせを選んでください。

Combi Frame サイズ 1 with
Panda Futura シートサイズ 2¹/₂

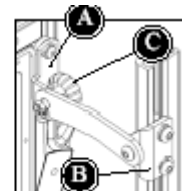
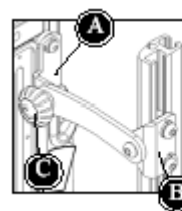
Combi Frame サイズ 1 with
Panda Futura シートサイズ 1 and 2

Combi Frame サイズ 2 with

Panda Futura シートサイズ 2¹/₂ and 3

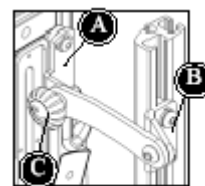
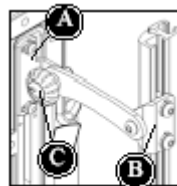
3. 背もたれがフレーム背面と平行して取付いているか確認してください。

- ・右図のように、Panda Futura の背面に金具 (A) を取付けてください。
- ・Combi フレームの側面に金具 (B) を取付けてください。
- ・金具 (A) にネジ (C) を取付けてください。ネジの端をナットで締めてください。
- ・金具 (B) に取付けたプレスを、ネジ (C) の上まで持ってきてください。
- ・ネジを締めてください。
- ・最終調整で金具 (B) を緩めることができます。



Combi Frame サイズ 3 with
Panda Futura シートサイズ 3

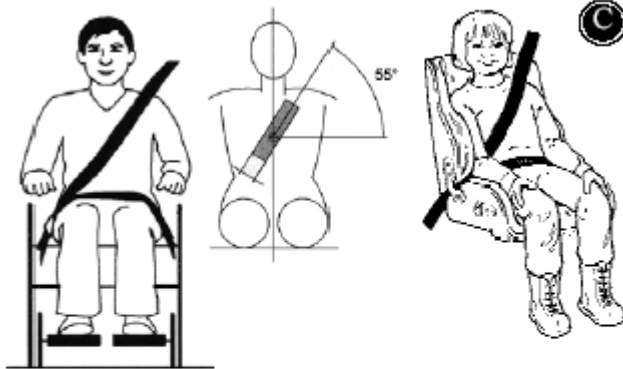
Combi Frame サイズ 3 with
Panda Futura シートサイズ 4



ネジ (C) を緩め、金具 (B) に取付けたプレスを上げると、シートを簡単に取外すことができます。

イスにお子さまを乗せる方法については、27 ページをご覧ください。

<お車での移動（その6）>



C

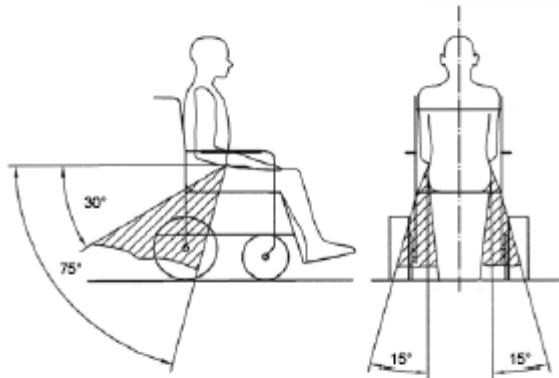
2.シートにお子さまを乗せてください。

・3点式ベルトをお使いください（図C）。

・3点式ベルトの角度と位置が変わります（図D）。

・お子さまが苦しくない程度まで、ベルトをしっかり締めてください。ご使用中は、ベルトがねじれないようご注意ください。

・シートと背もたれに対して 90° の位置を保ち、シート全体を 18° まで後ろに倒すことをおすすめします。



D



ISO 10542-1 の認可を受けた3点式のベルトをお使いください。

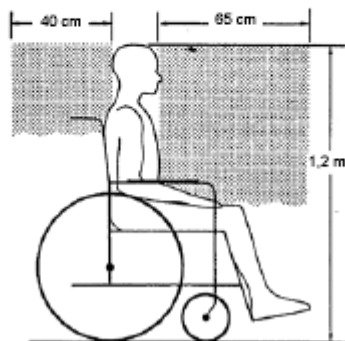
移動について：

・移動の前には、アクセサリはすべて取外してください。

・正面に向いてお座りください。

・お車での移動の際のシート耐荷重は22kgです。

E



車内でお子さまの位置を変える際には、図(E)の安全ゾーンをご参照ください。

<製品識別> (ラベル貼付位置)

Panda Futura スタンダードシート、アクティブシート

A) 製造番号

クッション下のシート部分 (右)

B) 製造者名

クッション下のシート部分 (左)

High-Low フレーム (屋内用/屋外用)

A) 製造番号

フレームの左側

B) 製造者名

フレームの左側

フロアーフレーム

A) 製造番号

クロスバーの左側

B) 製造者名

フレーム後方のクロスバーの中央部分

車椅子フレーム

A) 製造番号

シート下のクロスバー

B) 製造者名

シート下のクロスバー

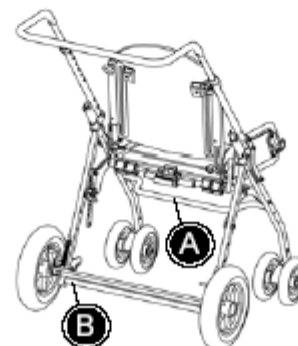
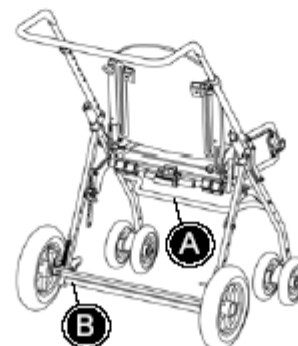
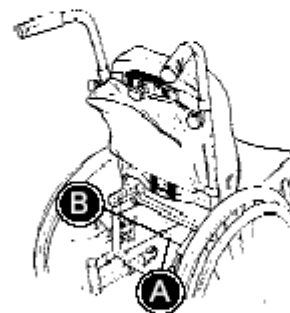
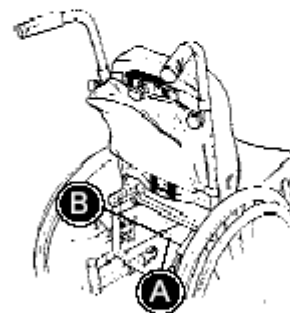
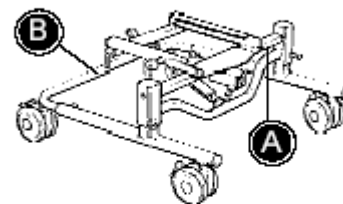
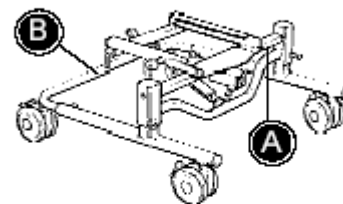
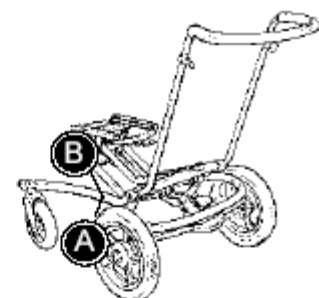
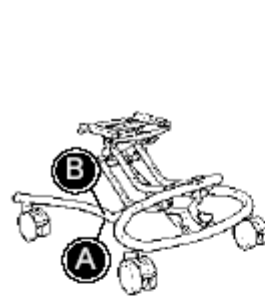
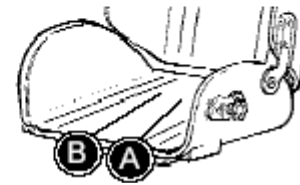
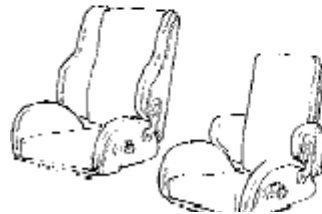
バギーフレーム

A) 製造番号

シート下のクロスバー上部

B) 製造者名

後輪左のクロスバー



<寸法表>

シート

	サイズ	奥行き (cm)	幅 (cm)	背もたれ (cm)	アームレスト 高さ (cm)	重量 (kg)	耐荷重 (kg)	リクライニング 角度
Panda アクティブ [®]	2	24	22	35	13-18	5.2	50	-4°～+27°
Panda アクティブ [®]	2.5	28	25	38	13-18	5.6	50	-10°～+20°
Panda アクティブ [®]	3	31	29	40	13-27	6.2	50	-9°～+27°
Panda アクティブ [®]	4	36	32	45	17-30	7.5	60	-6°～+17°
Panda スタンダード [®]	1	22	22	29	13-18	5.7	50	-3°～+28°
Panda スタンダード [®]	2	24	22	39	13-18	5.7	50	-15°～+32°
Panda スタンダード [®]	2.5	28	25	41	13-28	6.2	50	-10°～+35°
Panda スタンダード [®]	3	31	29	44	13-27	7.3	50	-5°～+36°
Panda スタンダード [®]	4	36	32	52	18-27	8.7	60	-5°～+30°

フレーム

	長さ (cm)	幅 (cm)	座面高 (cm)	対象サイズ (cm)	重量 (kg)	耐荷重 (kg)	シート 角度
フロアフレーム	49	53	23	1/2/2.5/3/4	3.9	60	-15°～+20°
キャスター付フロアフレーム	49	53	32	1/2/2.5/3/4	5.9	60	-15°～+20°
High-Low フレーム(屋内用)	69	52-56	17-60	1/2/2.5/3/4	12.3	60	-10°～+30°
電動式 High-Low フレーム(屋内用)	69	52-56	17-60	1/2/2.5/3/4	12.8	60	-10°～+30°
High-Low フレーム(屋外用)	96-110	56-62	26-70	1/2/2.5/3/4	17.5	60	-10°～+30°
電動式 High-Low フレーム(屋外用)	96-110	56-62	26-70	1/2/2.5/3/4	18.0	60	-10°～+30°
車椅子フレーム(サイズ 1)	84	59	44-50	1/2	10.9	90	-8°～+18°
車椅子フレーム(サイズ 2)	92	62	44-50	2/2.5/3	11.2	90	-8°～+18°
車椅子フレーム(サイズ 3)	100	67	44-50	3	11.9	90	-8°～+18°
バギーフレーム(サイズ 1)	104-114	53	43	1/2	11.0	35	-19°～+31°
バギーフレーム(サイズ 2)	106-116	64	43	2/2.5/3	11.0	50	-19°～+31°
バギーフレーム(サイズ 3)	97	71	53	4	13.3	90	-10°～+34°
前輪自在キャスター付バギーフレーム(サイズ 3)	97	71	56	4	13.3	90	-10°～+34°

＜テクニカルデータ＞

シート：ABS（アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン）リサイクル可能
クッション：耐火発泡ウレタン
カバー：ポリエステル 100%
フレーム：スチール製（クロミウム塗装）

＜製造者＞

R82 A/S
Parallelvej 3
8751 Gedved

＜販売店＞

<メンテナンス>

Panda Futura のカバーは取り外しができ、最高 30℃のお湯で洗うことができます。品質維持の為、フレームのお手入れを行ってください。

少なくとも月 1 回はタイヤを点検し、空気圧が下がっていたら空気を補充してください。
(標準空気圧は下記のとおりです)

High-Low フレーム (屋外用)	前輪：35PSI/250kPa	後輪：40PSI/2.5bar
車椅子フレーム	車輪：110PSI/250kPa	
バギーフレーム	前輪：36PSI/2.5bar	後輪：36PSI/2.5bar



各開閉部分につきましては、少なくとも 6 カ月ごとにチェックと注油をしてください。



車輪についた汚れや泥を拭き取る際には、乾いた布をお使いください。塩素や変性アルコールを含む洗剤は使わないでください。



Panda Futura を安全にお使いいただくために、少なくとも 6 カ月ごとに販売店による点検を受け、ネジなどの緩みがあれば締めてもらってください。



ドラム式ブレーキをお使いの場合には、正しくブレーキが作動するようにワイヤーを締めてください。少なくとも 6 カ月ごとに販売店による点検を受け、ネジなどの緩みがあれば締めてもらってください。



タイヤのスポーク関係は、定期的に販売店又はお近くの自転車修理店などの専門家に調節してもらってください。



ガスダンパーには、圧力をかけたり、高温の場所に置いたり、穴を開けたりしないでください。



この取扱説明書に記載されていない調節につきましては、販売店にご相談ください。

